

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

助成事業名	内訳	2018年度 (平成30年度) 助成金 (実績)		2018年度 (平成30年度) 助成金 (計画)
Ⅰ. プロ・ナトゥーラ・ファンド助成	国内研究助成	20 件	18,257.2	39,700.0
	国内活動助成	7 件	5,430.0	
	〃 (地域NPO)	1 件	500.0	
	海外助成	2 件	2,950.0	
	出版助成	0 件	0.0	
	特定テーマ(第29期)	3 件	3,000.0	
	特定テーマ(第28期)	6 件	5,820.0	
	小 計	39 件	35,957.2	39,700.0
Ⅱ. ナショナル・トラスト活動助成		2 件	4,392.0	5,000.0
Ⅲ. 緊急助成		0 件	0.0	2,000.0
Ⅳ. 協力型助成 (旧提携助成) ㊟		4 件	3,308.0	3,300.0
	合 計	45 件	43,657.2	50,000.0

㊟協力型助成は、国際NGO助成、学協会助成、国際的プログラ助成のグループ総称です。

2. 助成金交付一覧

I. 2018年度(平成30年度) 第29期プロ・ナトゥーラ・ファンダ助成先一覧

【国内研究助成】

(単位：千円)

No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	諫早湾の常時開門後まで続く有明海奥部海域の底生動物群集変化の研究	有明海保全生態学研究グループ	東 幹夫	1,000
2	北大東島における亜種ダイトウコノハズクの絶滅と再導入—環境保全の象徴種の復活—	ダイトウコノハズク保全研究グループ	高木 昌興	1,000
3	伊豆諸島八丈小島におけるノヤギ駆除後の島嶼生態系回復状況と復元に向けた基礎調査	伊豆諸島自然史研究会	樋口 広芳	950
4	シカ捕獲用くくり罠による錯誤捕獲がカモシカに与える影響	浅間山カモシカ研究会	南 正人	917.2
5	南西諸島に侵入した国内外来種のテントウムシの分布調査と在来種への影響	テントウムシ研究会	鈴木 紀之	1,000
6	世界自然遺産候補地奄美群島の森林生態系に関する基礎的研究	鹿児島大学薩南諸島森林生態研究グループ	相場 慎一郎	960
7	岐阜県におけるニホンカモシカの被害防止および保全に向けた研究	岐阜県ニホンカモシカ研究会	池田 敬	1,000
8	琵琶湖における外来魚アメリカナマズの捕獲情報収集および遊泳能力計測に基づく分布拡大予測	チャネルキャットフィッシュ行動研究グループ	吉田 誠	990
9	北海道の在来魚群集に対するニジマスの影響評価のためのハザードマップ	北教大-神戸大水環境チーム	今村 彰生	1,000
10	新たに確認された徳島県牟岐町カンムリウミスズメ繁殖地での繁殖個体群規模の推定とネズミ類侵入状況確認	海鳥保全グループ	武石 全慈	1,000
11	絶滅危惧IA類ウミスズメ天売島個体群の遺伝的特性の評価とその保全への提言	西太平洋海鳥保全研究会	西海 功	1,000
12	世界の分布南限地において危機的状況にあるオオウメガサソウ(絶滅危惧種)の保全に関する研究—特殊な種子発芽と成長プロセスの実態を解明する—	茨城県多様性保全研究グループ	伊藤 彩乃	1,000
13	金華山島におけるシカ個体数の長期継続調査に向けたドローン利用手法の確立	金華山島シカ研究グループ	伊藤 健彦	550
14	神子元島で繁殖するカンムリウミスズメの採餌域と採餌深度のバイオリギングによる解明	神子元島カンムリウミスズメ調査グループ	森 貴久	1,000
15	希少森林性コウモリの生態と保護：ヤンバルホオヒゲコウモリとリュウキュウテングコウモリのねぐら追跡、食性、及び分布調査	島コウモリ調査グループ	PREBLE Jason Hideki	1,000
16	DNAバーコーディングを用いた西表島のアンブレラ種2種の食性解析を通じた西表島生態系の保全	イリオモテヤマネコ研究グループ	戸部 有紗	1,000
17	東日本大震災後の低地の残存クロマツ海岸林の現状の把握	福島大東日本大震災植物多様性調査グループ	曲淵 詩織	280
18	小笠原諸島父島におけるムラサキオオヤドカリ個体群の保全に向けた基礎研究	オオヤドカリ保全グループ	菊地 友則	890
19	トカラ列島口之島に生息する外来テンの影響と分布	トカラ列島外来生物研究グループ	三谷 奈保	1,000

20	四国固有種“イシヅチザクラ”の保全に向けた分布と遺伝的多様性についての調査研究	愛媛林研イシヅチザクラ調査グループ	西原 寿明	720
国内研究助成 20件			計	18,257.2

【国内活動助成】

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	島嶼における外来ネコ問題対策への支援と普及啓発及び新たな対策提言	外来ネコ問題研究会 (Invasive Cat Research Japan)	石井 信夫	1,000
2	芦生の森での協働事業を通じた若者世代の参加を促すマニュアル作成による自然保護活動の持続可能性向上	若者世代と自然をつなぐ会	赤石 大輔	900
3	伊豆諸島植生誌－草原と人里の植生－の編纂	伊豆諸島植生研究グループ	上條 隆志	310
4	日本の砂浜生態系を保全するための市民参加型調査	海の生き物を守る会	向井 宏	1,000
5	熊本県球磨地域における希少種生息湿地の保全、および維持のためのネットワーク形成	球磨湿地研究会	一柳 英隆	600
6	バードウォッチングを野鳥の保全につなげる仕組み作り	特定非営利活動法人バードリサーチ	神山 和夫	620
7	豪雨災害によって繁殖地が大改変し、個体群が流出したオオサンショウウオの保護活動	真庭遺産研究会	澤本 晴視	1,000
国内活動助成 7件			計	5,430

【国内活動助成（地域NPO活動枠）】

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	雲仙天草国立公園・田代原草原におけるミヤマキリシマ保全活動	特定非営利活動法人 奥雲仙の自然を守る会	木下 美津子	500
国内活動助成（地域NPO活動枠） 1件			計	500

【海外助成】

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	Surveys and ranging behavior of critically endangered monkeys of Comoe National Park, Côte d'Ivoire	West African Primate Conservation Research Group	Sery Ernest Gonedele Bi	1,500
2	ブータン王国の絶滅危惧種シロハラサギの採餌パターンに基づく保全活動	シロハラサギ保全チーム	Pema Khandu	1,450
海外助成 2件			計	2,950

【出版助成】

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
出版助成 0件			計	0

【第29期 特定テーマ助成】「サンゴ礁保全をめぐる地域課題に関する調査・研究およびアウトリーチ活動」

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	暮らしの中から考える与論島のサンゴ礁の恵みと漁撈文化	ゆんぬピシバナ研究チーム	渡久地 健	1,000
2	礁池の脆弱性の機構解明と希少・特異なサンゴ群集の検索による、中琉球の裾礁の特性と地域的価値と保全重点地域の再検討による基盤整備の提案	中琉球の裾礁研究グループ	中野 義勝	1,000
3	名護市東海岸のサンゴ礁域の持つ価値を地域住民とともに可視化するための多角的な調査	公益財団法人 日本自然保護協会	安部 真理子	1,000
第29期 特定テーマ助成 3件			計	3,000

【第28期 特定テーマ助成】「シカ問題解決に向けた実践的な活動ならびに研究」（2年目分）

	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	芦生冷温帯天然林における集水域単位のシカ防護柵の生態系機能保全効果と実用性の検証	芦生生物相保全プロジェクト(ABC project)	福島 慶太郎	1,000
2	日本のシカ-植生モニタリング調査（2009, 2018）からみた地域の生物多様性保全研究	地域の自然と生物多様性保全研究グループ	前迫 ゆり	1,000
3	長野県霧ヶ峰高原での防鹿柵設置による絶滅危惧動植物の保全・再生効果	霧ヶ峰高原研究会	小山 明日香	900
4	複数の行政機関が収集したシカに関するデータの再解析と結果統合による保全対策の新提案	エゾシカの植生への影響評価グループ	富士田 裕子	920
5	分布拡大初期にあるシカ個体群の低コストモニタリング手法の開発	東北野生動物管理研究交流会	江成 広斗	1,000
6	地域・行政・研究者の双方向通信システムを活用したシカ害対策技術の高度化	奥三河地域シカ害対策協議会	石田 朗	1,000
第28期 特定テーマ助成（2年目） 6件			計	5,820
プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 39件			合計	35,957.2

Ⅱ. 2018年度（平成30年度）ナショナル・トラスト活動助成先一覧

（単位：千円）

No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	長崎県対馬市で絶滅危惧種ツシマヤマネコを守るための生息環境の整備と生息数の維持活動	特定NPO法人ツシマヤマネコを守る会	山村 辰美	2,000
2	「水の都・三島」の自然環境の再生・創造に向け、環境改善活動、環境教育などに寄与する	特定NPO法人グラウンドワーク三島	小松 幸子	2,392
ナショナル・トラスト活動助成 2件			計	4,392

Ⅲ. 2018年度（平成30年度）緊急助成先一覧

（単位：千円）

No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
緊急助成 0件			計	0

IV. 2018年度（平成30年度）協力型助成（旧提携助成）先一覧

（単位：千円）

（１）国際ＮＧＯ助成				
No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
国際ＮＧＯ助成 0件			計	0
（２）学協会助成				
No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	最絶滅危惧チョウ類ツシマウラボシシジミの生息域内・域外保全に関する研究	日本鱗翅学会	矢後 勝也	999
2	地域植物資源の活用と保全の試み・阿蘇小規模崩壊地復元プロジェクト	日本緑化工学会 生産・環境緑化研究部会	中島 敦司	980
学協会助成 2件			計	1,979
（３）国際的プログラム助成				
No.	テーマ	申請団体	代表者名	助成額
1	白神山地ブナ林の１００年モニタリング	世界遺産白神山地ブナ林モニタリング調査会	中静 透	513
2	苗場山麓ジオパークの船津川における河川環境の調査と自然環境台帳づくり	船津川の自然を考える会	林 幸大	816
国際的プログラム助成 2件			計	1,329
協力型助成 合計 4件			合計	3,308
助成件数 合計 45件			総額	43,657.2